

質問箱

Q・どうなっているの?
南足柄市夜間診療所

南足柄市は総合福祉保健センターの建設を計画しています。本年度で基本設計を行い来年度本設計、平成十年年度完成の予定です。市長としてはそのセンターの目玉として夜間診療所を開設したいと考えているようです。

そのままゆきまますと、休日診療所は現在の開成町、夜間は南足柄と住民にとっては混乱のもとになりそうです。

またその場合巨額と考えられる運営費用を南足柄市単独で負担するとしていますが、これについても納税者として納得がゆきまさん。

足柄上医師会としては、一市五町で良く話し合って、一ヶ所ですべてほしいといっているわけですが、その話し合いすら行われていない現状です。こういう状態のまま市ではセンターを建設してしまい、その施設を使って夜間診療所を開設する方針らしいのですが、非常に問題の多いやり方だと思われま



足柄上地区の胃がん
大腸がん検診について

一・胃がん検診の受診方法

(一) 一次検診：最初に受ける検診。バリウムを飲んでX線写真を撮ります。

a・集団検診

保健センターなど検診車が来て実施します。通常六〜九枚の六センチメートル×六センチメートルのフィルムで判定します。

b・個別検診

医療機関で二次検診同様に実施します。ここで問題になりますとすぐ三次検診の内視鏡検査になります。南足柄市・大井町・開成町で行っています。

(二) 二次検診

一次の集団検診で所見のあった人が登録医療機関でバリウムによるX線写真撮影を受けます。四ツ切りフィルム十三枚が基準です。

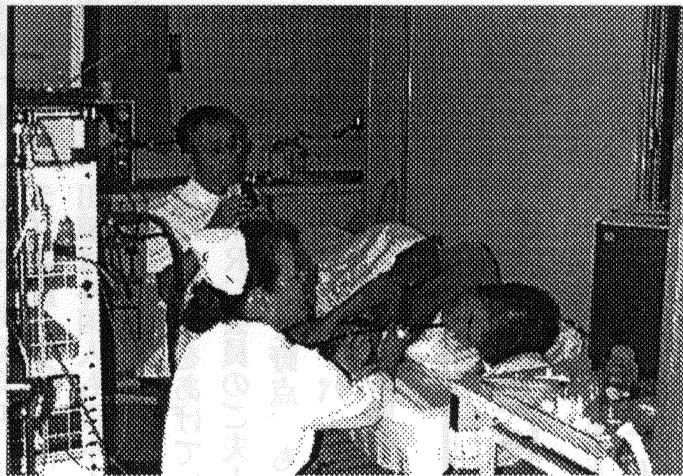
(三) 三次検診

一次検診の個別検診、二次検診で要精検となった人たちが、登録医療機関で内視鏡検査を受けます。

二・大腸がん検診の受診方法

(一) 一次検診

便潜血検査、問診



二日間の便の一部を試験管(二本)にとって提出していただきます。便の中に血液が混じっているか調べます。

(二) 二次検診

登録医療機関で個別に行います。便潜血反応の陽性者、問診から大腸がんの疑いのある人にバリウム注腸法によるX線検査を行います。バリウムを肛門より注入し、X線撮影を行います。正常四ツ切りフィルム十五枚〜二十枚です。

(三) 三次検診

二次検診で要精検者に大腸内視鏡検査を行います。

三・足柄上地区平成八年度
胃がん・大腸がん検診成績

【胃がん検診】

実施者数	
一次検査 (レントゲン)	2730名
二次精検 (レントゲン)	444名
三次精検 (内視鏡)	62名
結果 (主なもの)	
がん	4名
潰瘍	35名
胃炎	101名
ポリープ	57名

【大腸がん検診】

実施者数	
一次検査 (便潜血)	2929名
二次精検 (レントゲン)	111名
三次精密 (内視鏡)	7名
結果 (主なもの)	
がん	4名
ポリープ	41名
憩室症	9名

胃がん・大腸がんが四名ずつ見つかっています。いずれも手術可能なものですが、このうち胃がん二名、大腸がん一名が早期がんです。
当地区では、検診のやり方が、うまく行っています。
みなさん受診しましょう。

院長

☆受け付けからのお願い
月初めには必ず保険証を受付けにお出し下さい。
診察券は毎回お持ち下さい。

7月・8月の休診日

(日曜・祭日
水曜・土曜・第一火曜午後)

8月14日(木)
～8月17日(日)
(盆休)

